

# ソフトバンクの中長期成長を見据えた ESG戦略と環境対応の推進

ESG推進室 室長 兼 CSR本部 本部長  
池田 昌人

# 免責事項

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

An aerial view of a city with various digital overlays including gears, globes, and network lines in shades of blue and green.

# ESG戦略

# マテリアリティ = 経営理念と成長戦略を繋ぐ羅針盤

## 経営理念

「情報革命で人々を幸せに」

## ビジョン

「世界に最も必要とされる会社」

## マテリアリティ

## 成長戦略

Beyond Carrier · 中期経営計画

### 事業を通じた社会課題解決



#### ACTION 01

DXによる  
社会・産業の構築



#### ACTION 02

人・情報をつなぎ  
新しい感動を創出



#### ACTION 03

オープンイノベーション  
による新規ビジネスの創出

### 企業活動を通じた社会課題解決



#### ACTION 04

テクノロジーのチカラで  
地球環境へ貢献



#### ACTION 05

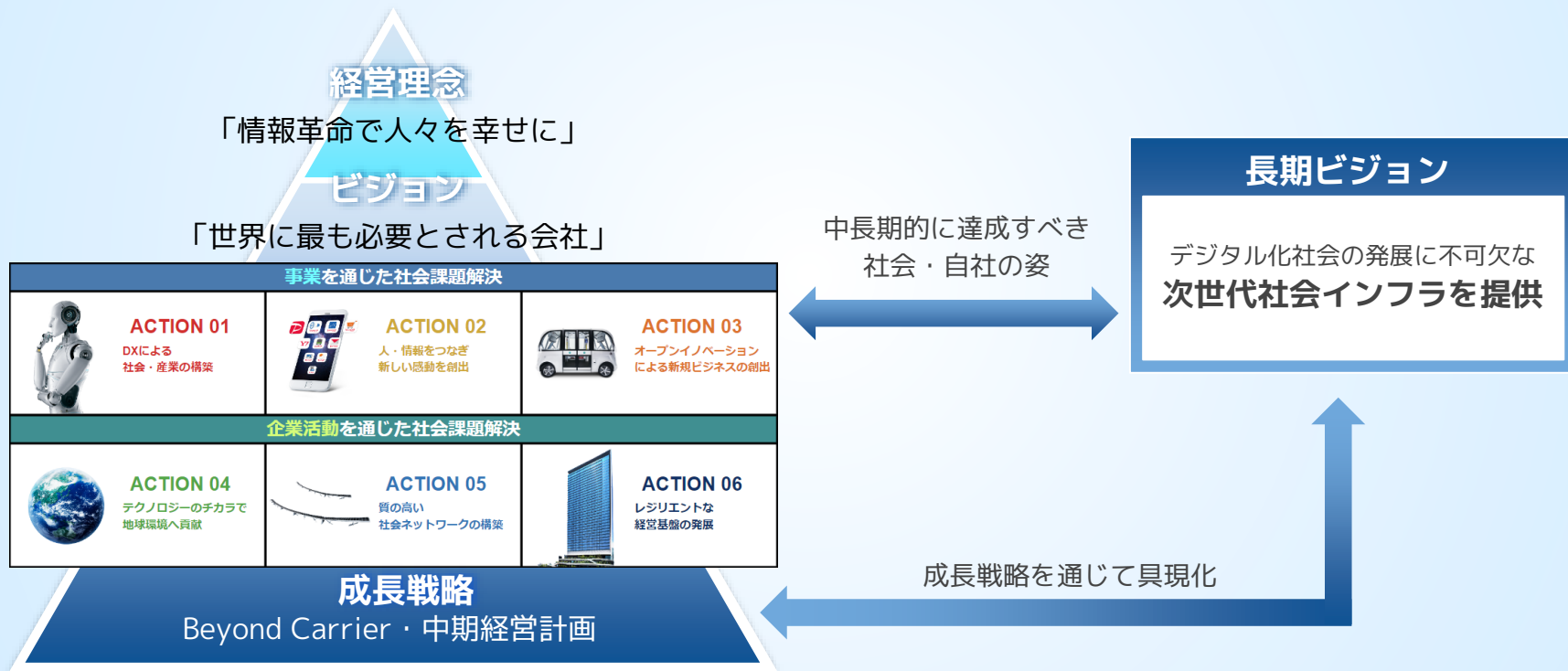
質の高い  
社会ネットワークの構築



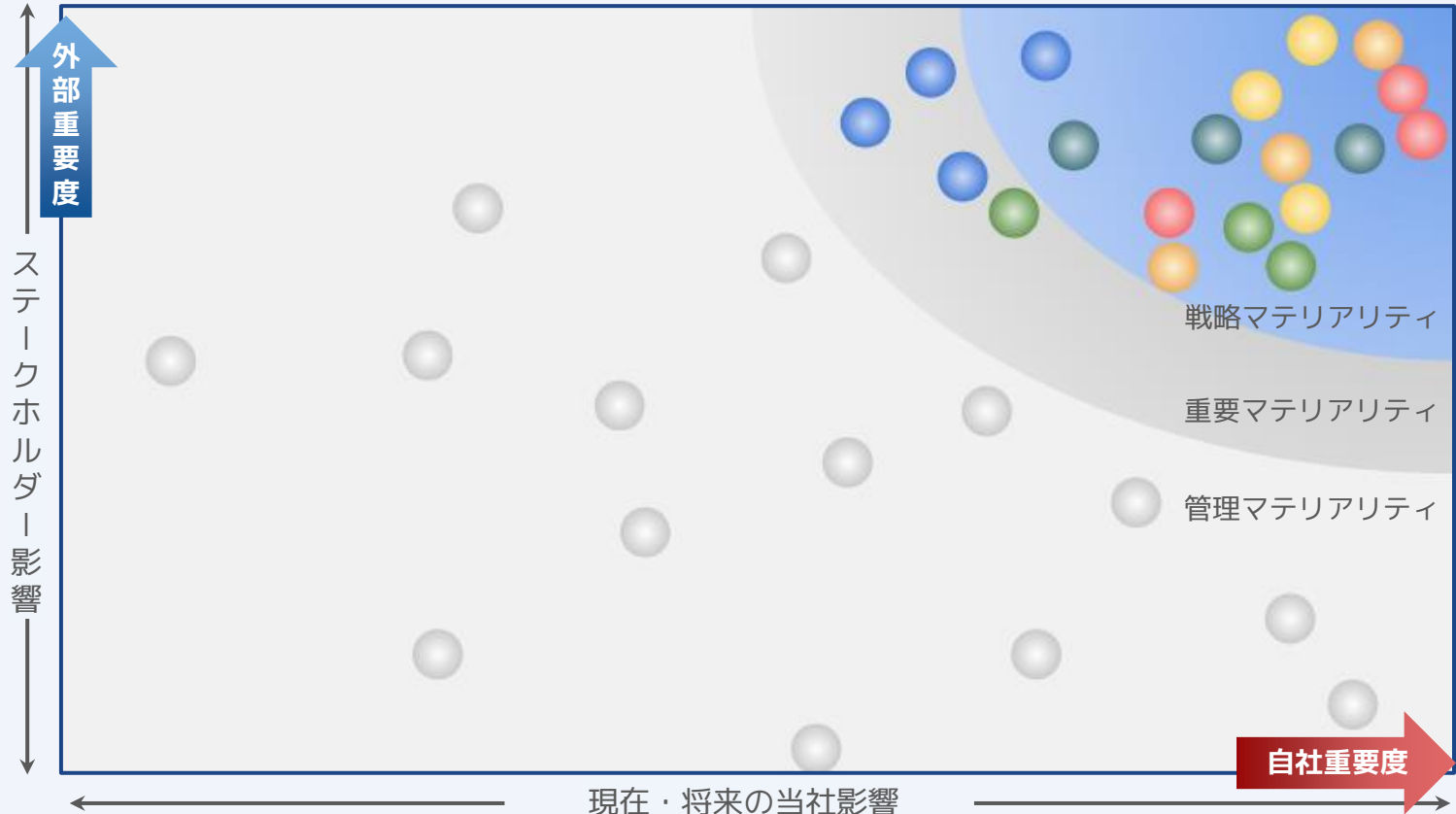
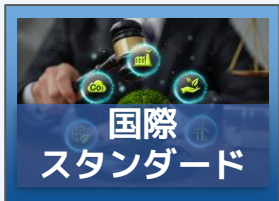
#### ACTION 06

レジリエントな  
経営基盤の発展

# 長期ビジョンや中期経営計画とも連動



# マテリアリティ特定のプロセス



短期計画・中長期計画

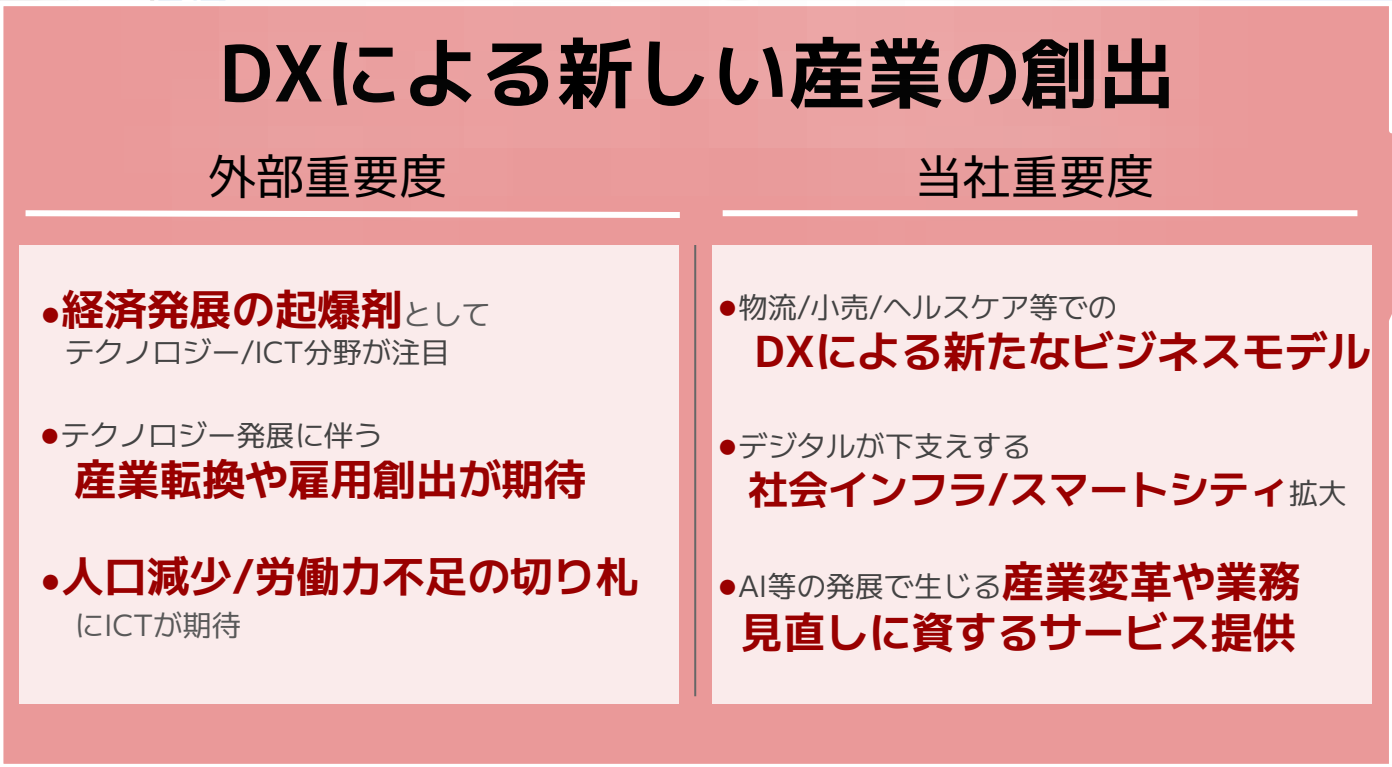
# マテリアリティ特定のプロセス

国際  
スタンダード

ESG Index

国際レポー

有識者



自社重要度

現仕・将来の当社影響

短期計画・中長期計画

# マテリアリティ特定のプロセス

外部

## テクノロジーや事業を通じた気候変動対策への貢献

### 外部重要度

- 気温上昇に伴う **大規模災害の頻発**
- パリ協定達成に向けた **企業のGHG排出削減を求める動き**
- 気候変動をリスク対処から、**成長の原動力（機会）**へ転換期待

### 当社重要度

- デジタル需要増を鑑みた **再エネ調達/データセンター分散化**
- 多発する災害に対する **ネットワーク等の事業継続性担保**
- 脱炭素社会牽引による **企業価値向上**
- 脱炭素に関連する **商材/ソリューションの事業機会増**

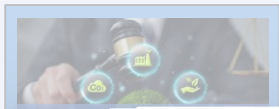
各マテリアリティ

重要マテリアリティ

管理マテリアリティ

自社重要度

短期計画・中長期計画



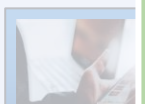
国  
スタン



ESG



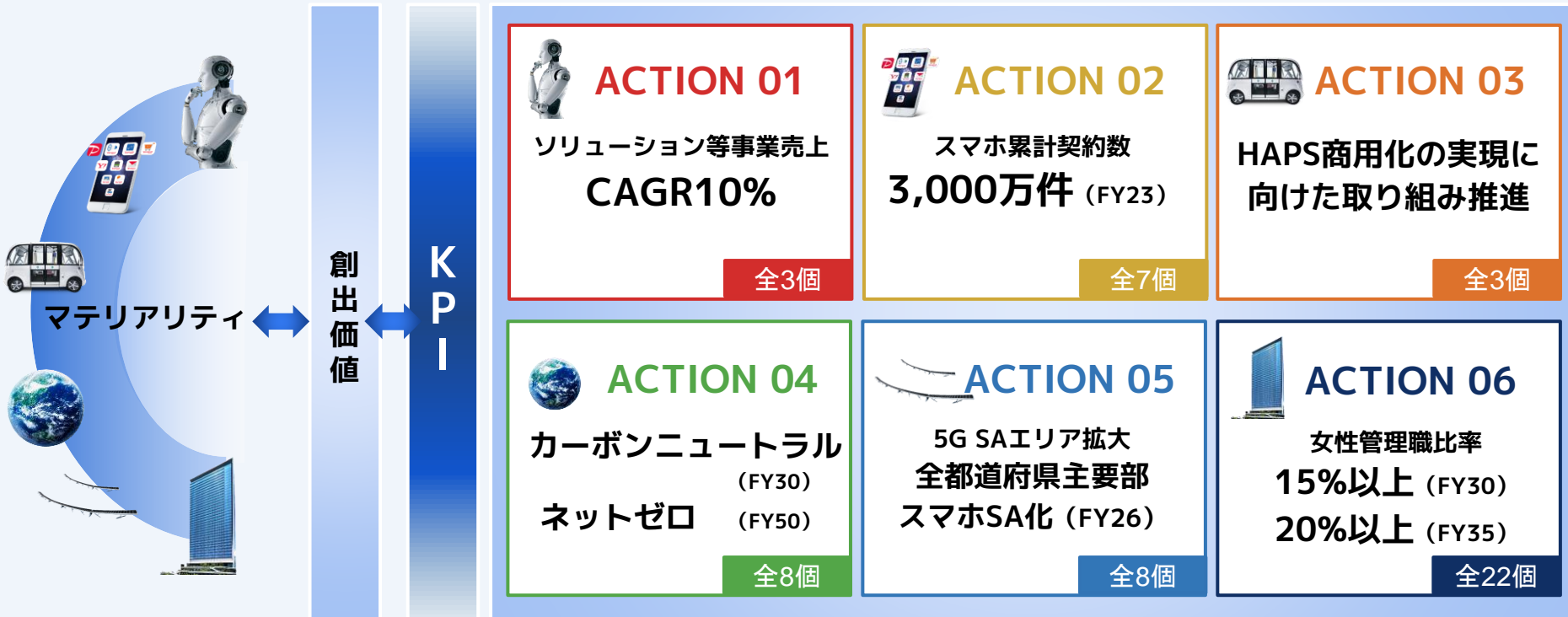
国際シ



有識者



# マテリアリティの実効性を担保するためにKPIを設定



※KPI全51個の内、代表KPIを抜粋記載

# 役員報酬設計に連動 → 非財務価値向上へ

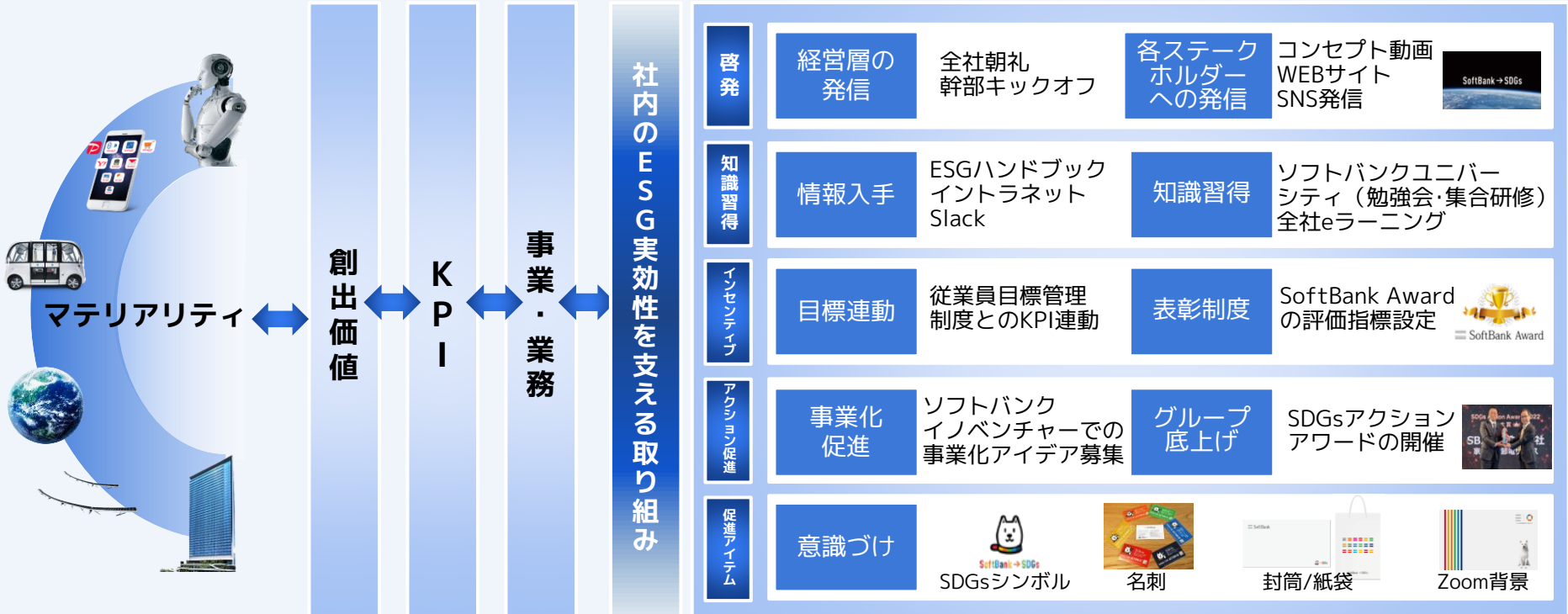
	FY23 報酬連動KPI	指標
 DXによる 社会・産業の構築	ソリューション等売上CAGR	10%以上
 テクノロジーのチカラで 地球環境へ貢献	基地局再生エネルギー比率	80%以上
 質の高い社会 ネットワークの構築	5G_SAエリア拡大 全都道府県主要部スマホSA化 (FY26までに完了)	都道府県数10
	ネットワーク重大事故発生件数	0件
	情報セキュリティ重大事故件数	0件
 レジリエントな 経営基盤の発展	DJSI World組入	組入実現

※短期業績連動における加算指標

# ESG推進の鍵は社員



# 社員浸透を体系化し推進



※取り組みを抜粋記載

# 全社員のESG意識調査

23年度上期

74%



自分の業務がESGとつながっていると感じる

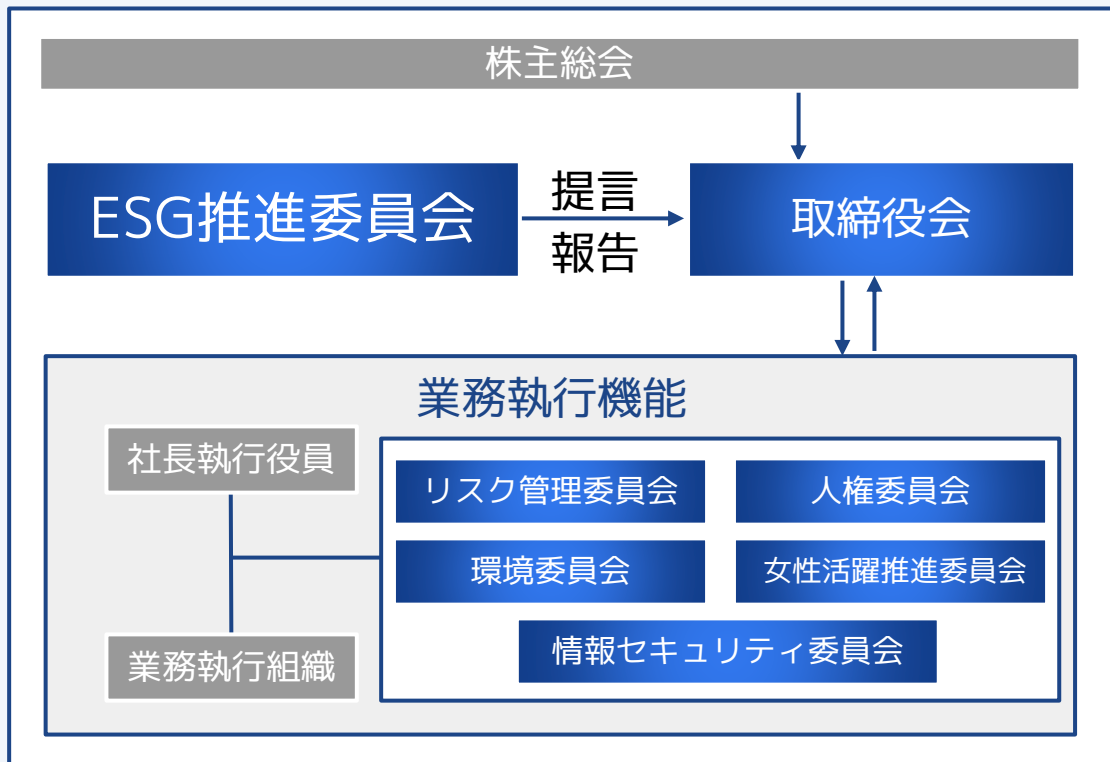
20年度上期

30%

ESG推進の自分ごと化  
約2.5倍

# ESGガバナンス体制

## 取締役会の諮問機関としてESG推進委員会を設置



頻度

年4回

構成

委員長：代表取締役社長

委員：取締役＋執行役員

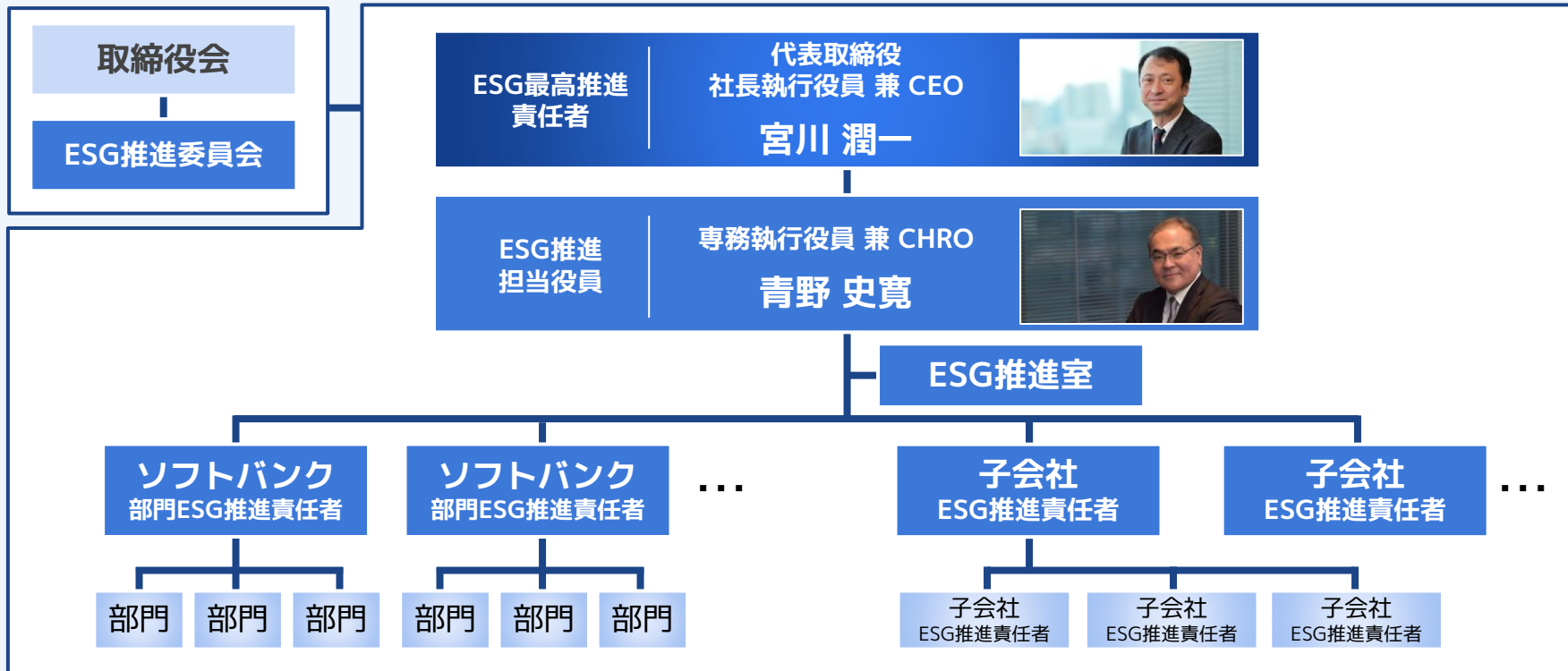
※委員長が指名

主な内容

- ・ ESG戦略/方針（マテリアリティ含む）
- ・ SX事業の促進
- ・ 有識者/企業ダイアログ等

# ESG執行体制

## 各部門・子会社に責任者/担当を設置





# “第三者”の視点を入れ客観性担保

## 有識者コミッティ



夫馬 賢治 氏  
信州大学  
グリーン社会協創機構  
特任教授



吉高 まり 氏  
東京大学教養学部  
客員教授  
(グリーンビジネス)

専門家の意見を  
定期的に反映

## 内部監査/第三者保証



仲 浩史 教授  
東京大学未来ビジョン研究センター

ESGの内部監査  
を日本で先駆け



非財務情報の  
任意保証取得

16項目取得

## ステークホルダー ダイアログ

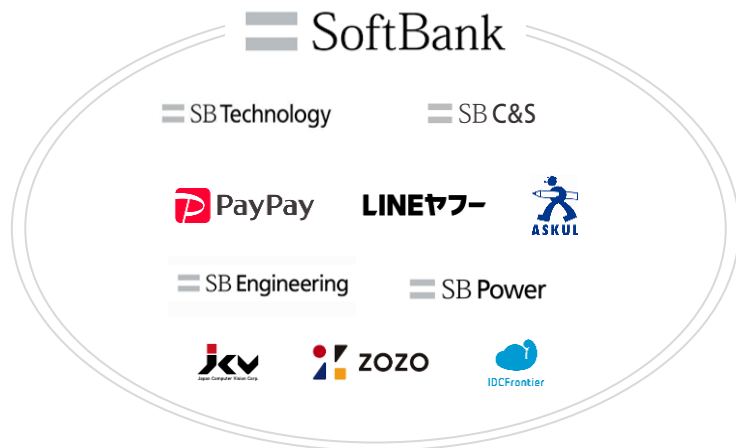


投資家やNGO/NPO  
などとの対話実施



# グループ全体でESG推進を加速

## グループ推進連絡会



企業間のESG連携強化・  
ノウハウ共有

## グループSDGsアクションアワード



SX促進に向けて  
好事例を表彰



# 環境対応の推進



# 国際社会の警鐘

2021年

2022年

2023年

2024年

1

異常気象

1

気候変動への  
適応の失敗

1

気候変動緩和策  
の失敗

1

異常気象

2

気候変動への  
適応の失敗

2

異常気象

2

気候変動への  
適応の失敗

2

地球システムの  
危機的变化

3

人為的な環境災害

3

生物多様性の損失

3

異常気象

3

生物多様性の喪失と  
生態系の崩壊

4

感染症

4

社会的結束の浸食

4

生物多様性の損失

4

天然資源不足

5

生物多様性の損失

5

生活破綻（生活苦）

5

大規模な非自発的移住

5

誤報と偽情報

※世界経済フォーラム「Global Risks Report」より「発生の可能性が高いグローバルリスクの上位5位」

# 環境対応の当社プライオリティ

気候変動

自然資本/資源循環



氣候變動

自然資本/資源循環

# 気候変動への基本スタンス

当社の  
事業

通信/インターネット = 事業の持続性には  
電力が不可欠

## 当社の責務

パリ協定の賛同と  
達成への対応推進

TCFD提言に  
基づいた開示

# 当社の気候変動影響 ※一例

## リスク

## 機会

### 物理

災害多発による設備や  
店舗等の対応/復旧負担増



気温上昇に伴う  
空調や対策のコスト増



### 移行

規制や省エネ技術等への  
対応遅延による事業影響



脱炭素対応/サービス提供  
停滞による費用/売上影響



炭素税導入等による  
税負担増



### 緩和

AI・ICT/スマートビル等  
省エネ関連ビジネス拡大



再エネ関連事業の拡大



省エネ性能端末/消費者行動  
促進サービス等の需要拡大



### 適応

MaaS/シェアリング事業拡大

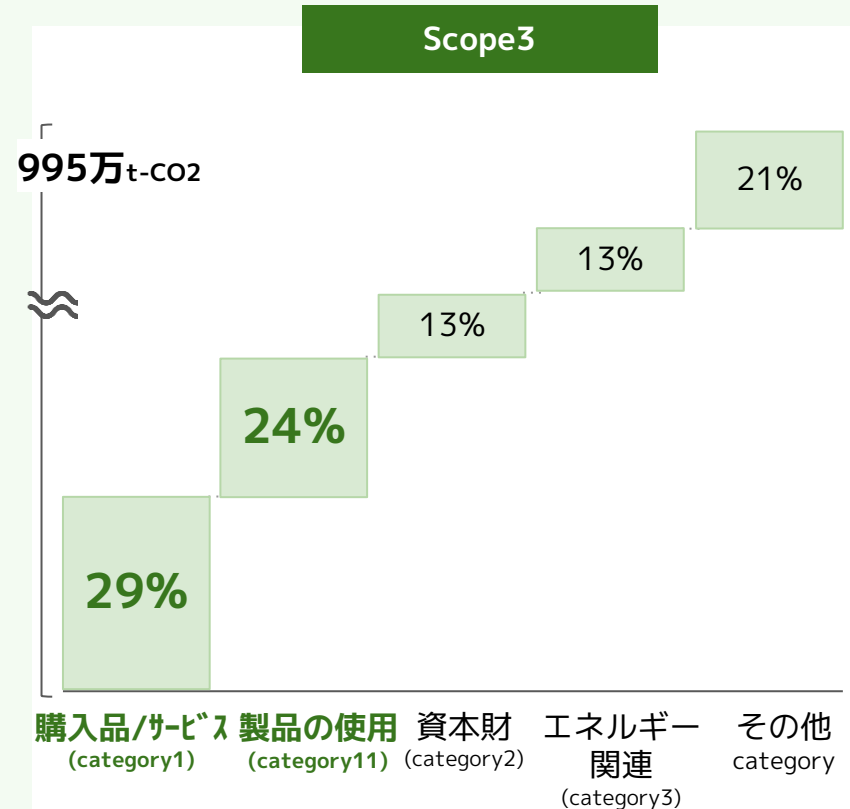
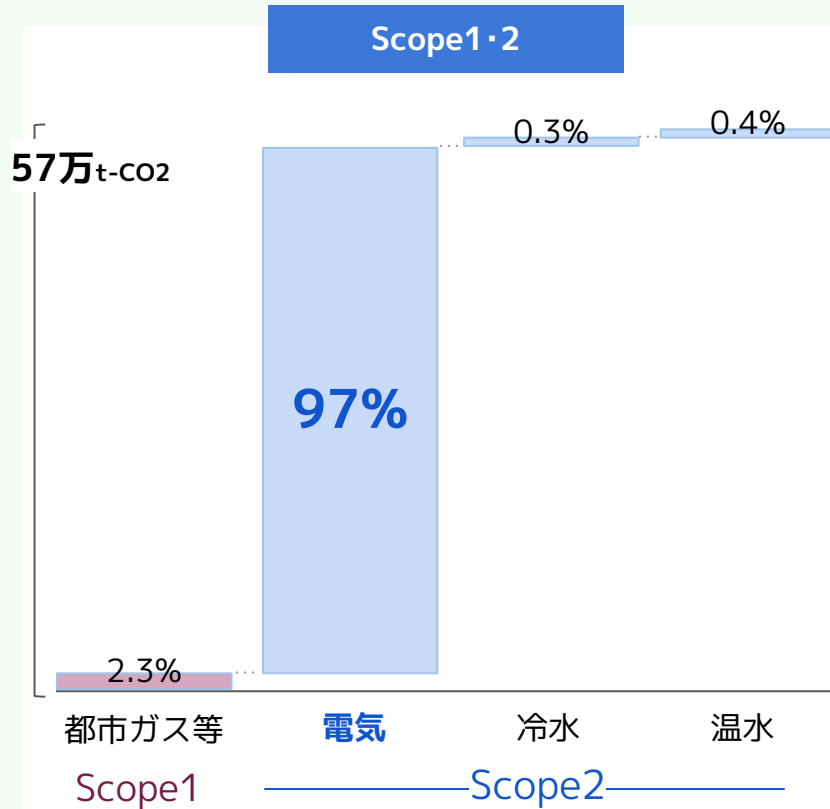


スマート農業/水事業の拡大



# 現在の当社GHG排出状況

※2022年度実績





# 当社のターゲット

## Scope 1・2



## 2030年GHG排出ゼロ

## Scope 3

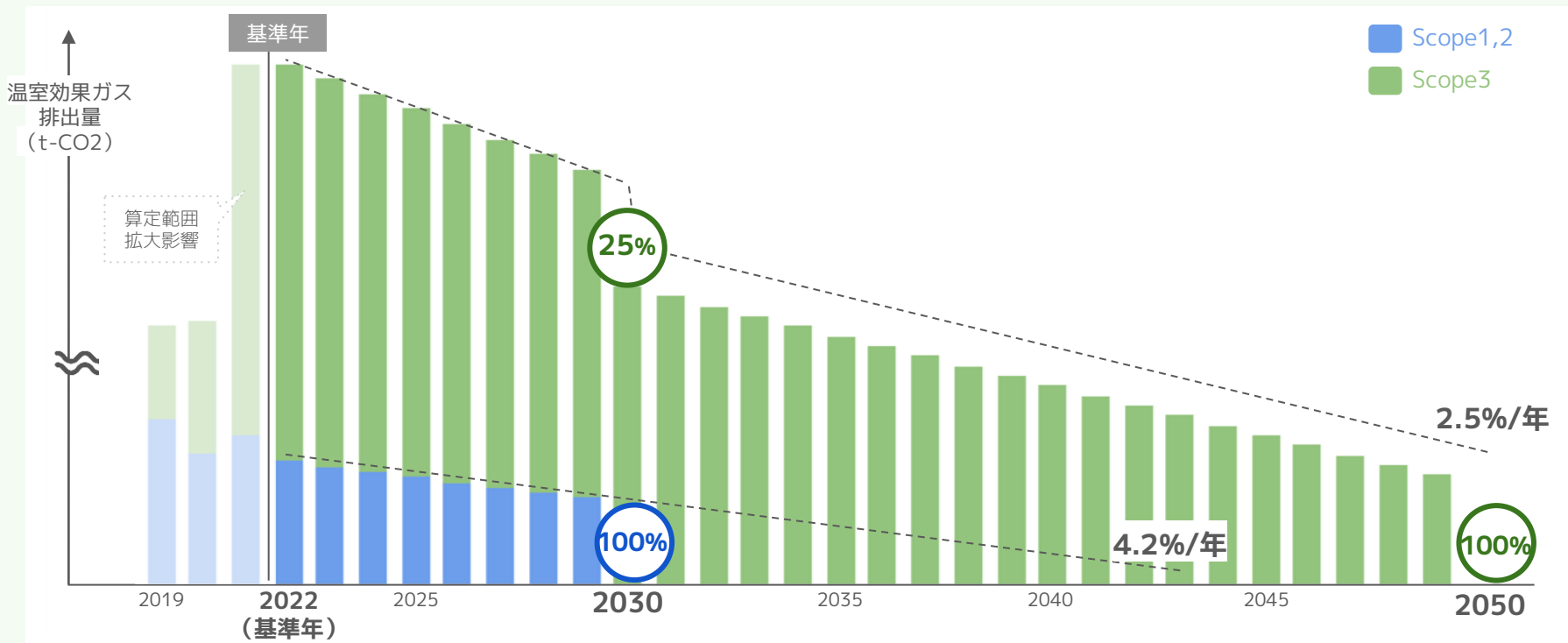


## 2050年GHG排出ゼロ

# GHG排出削減計画

Scope1・2 : 年4.2%以上削減  
Scope3 : 年2.5%以上削減

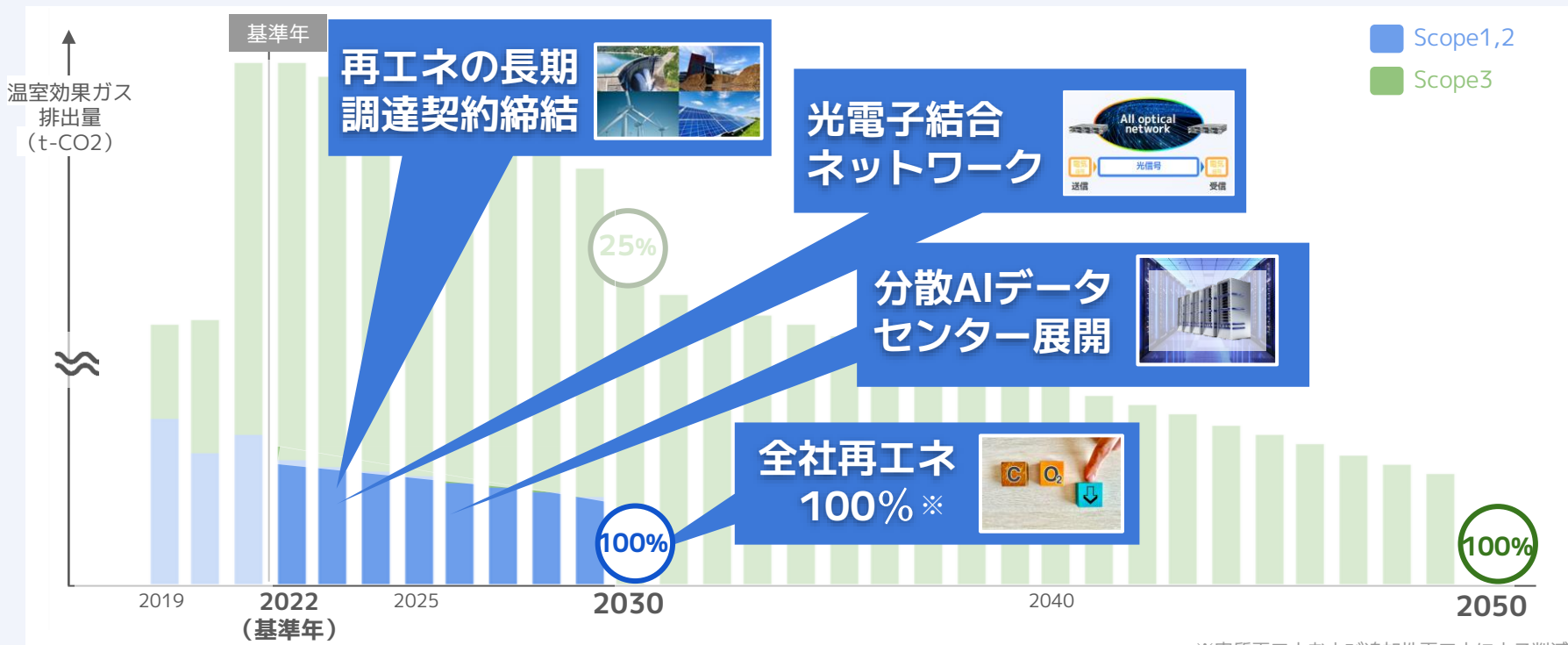
SBT審査中※  
(基準年2022年)



※ SBT短期目標：2021年認定取得（基準年2019年）。長期目標申請と合わせて短期目標も更新審査中  
ソフトバンク(株)および主要子会社の合計

# Scope1・2削減計画

## 再エネ・電力効率化等で達成予定



※実質再エネおよび追加性再エネによる削減

※ ソフトバンク(株)および主な子会社の合計

# Scope1・2削減 基本方針

## 再エネと省エネの両輪で推進

### 全社電力 再エネ化



22年度実績 42% ※

### AI/IoTによる電力効率化



テクノロジーを活用した  
環境の負荷軽減

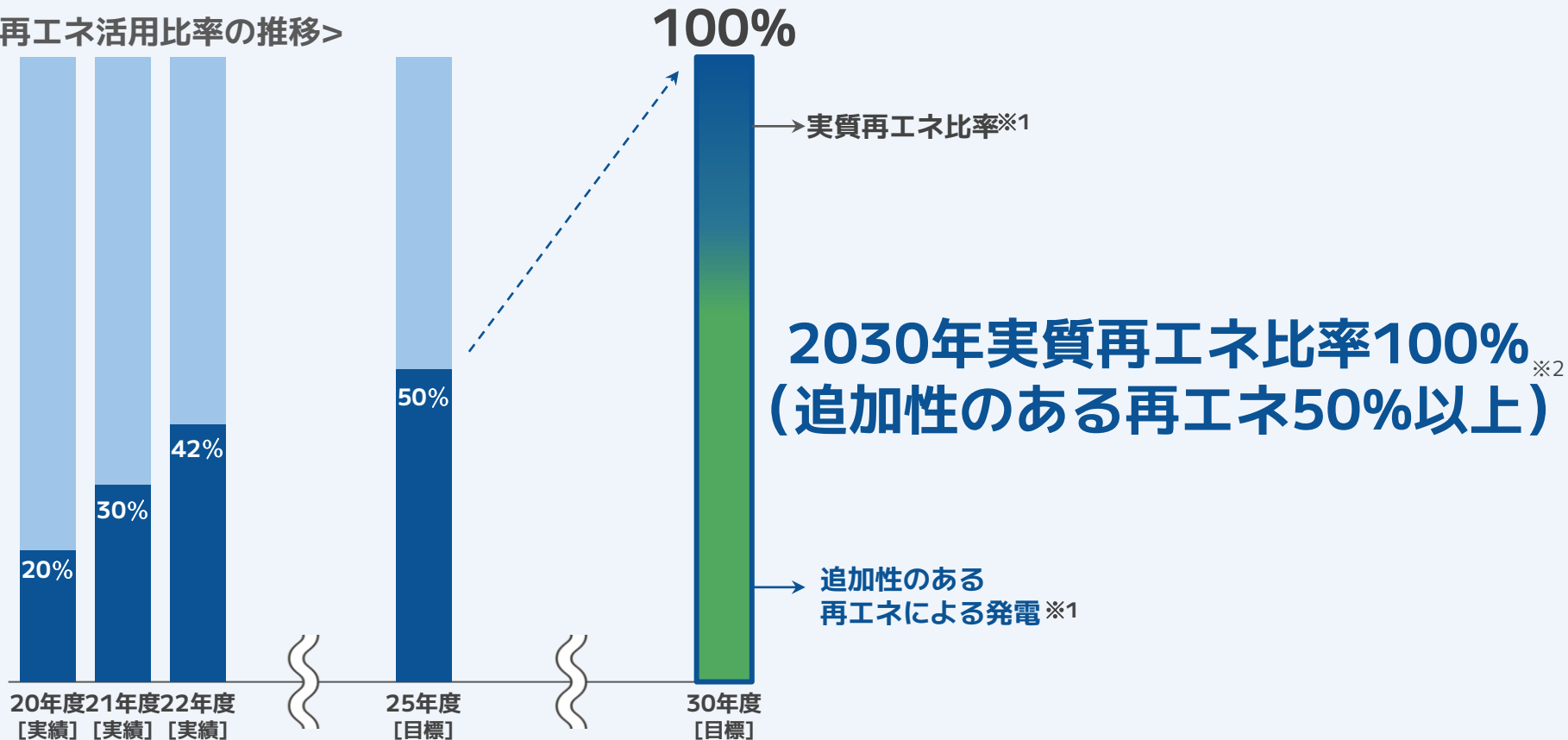
### 次世代電池の開発研究



大容量 / 高エネルギー密度の  
電池開発・実用化へ

# 再生可能エネルギー活用状況

<再エネ活用比率の推移>

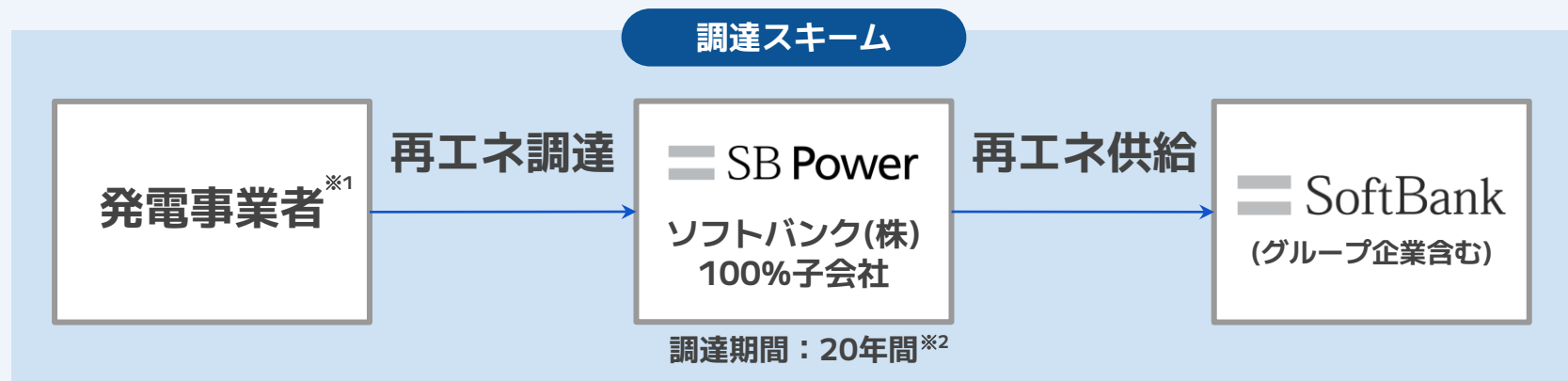


※1 再生可能エネルギー（実質再エネは非化石証書等による活用。追加性再エネは風力や太陽光などの再エネによる発電からの調達）

※2 ソフトバンク(株)およびWireless City Planning(株)の合計

通信事業で使用する電力量相当(約20億kWh)

# 再エネの長期調達契約締結



## 電気代高騰の影響を受けにくい事業構造へ転換

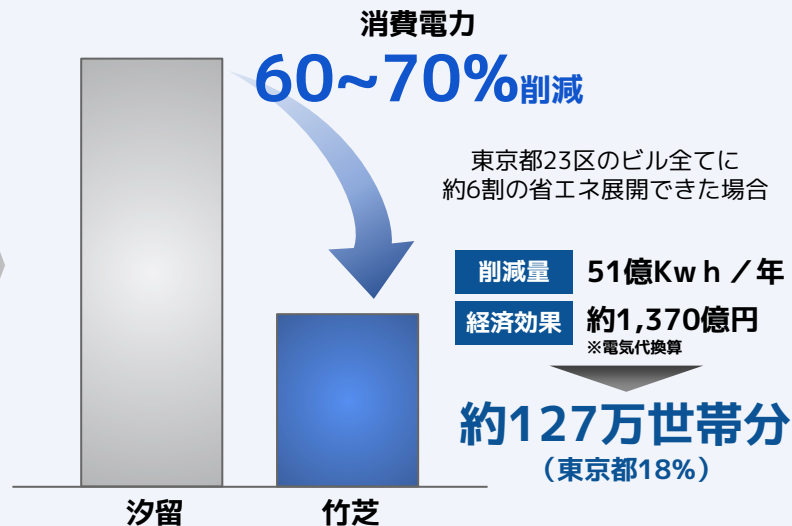
# スマートオフィス

## AI・IoTを活用して省エネルギー化を実現

### センサーの活用／省スペース化



### 省エネルギー化



# HAPS事業の推進

## 次世代基地局によるゼロエミッション実現

自然災害などの影響を受けにくいネットワーク構築

基地局による電力使用



建設・維持電力が大きい

高効率にエリアをカバー



低環境負荷機体によるサービス提供

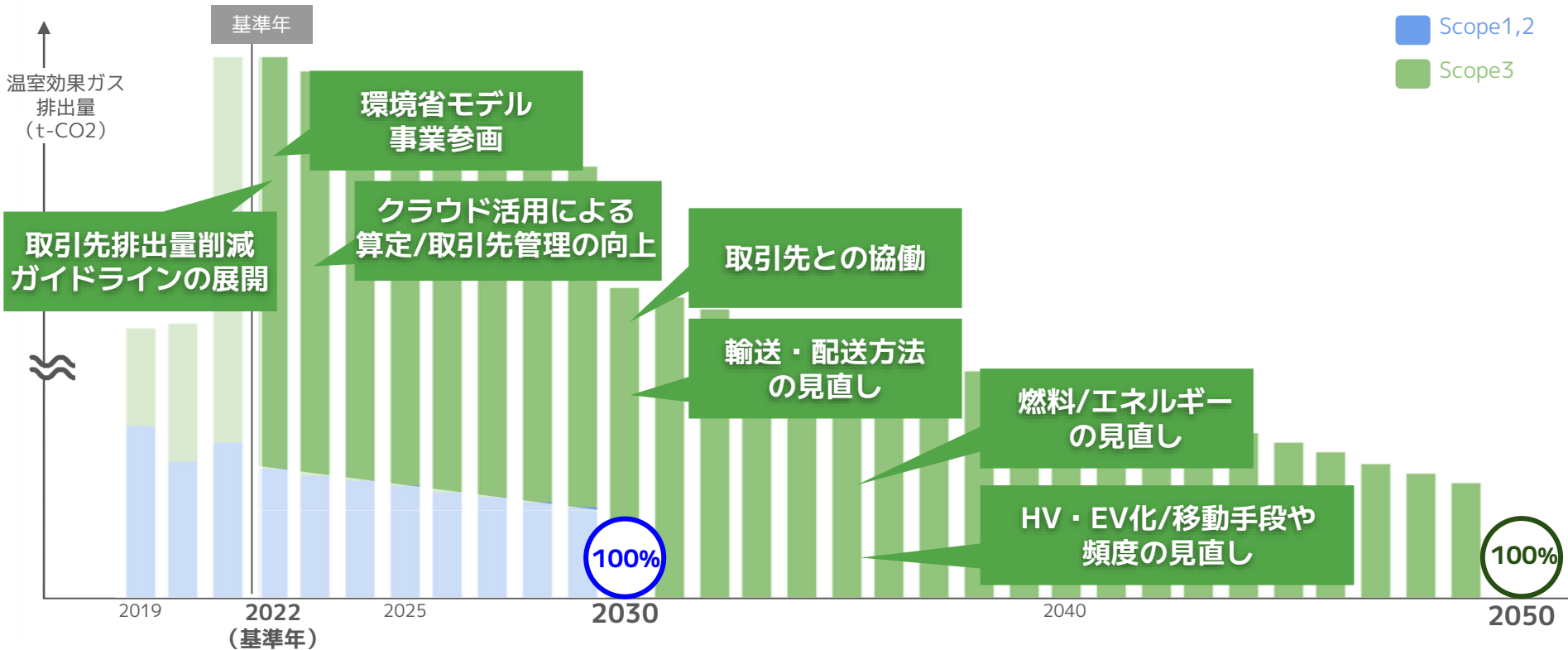




# **CLIMATE GROUP** **RE100**

**正式加盟**

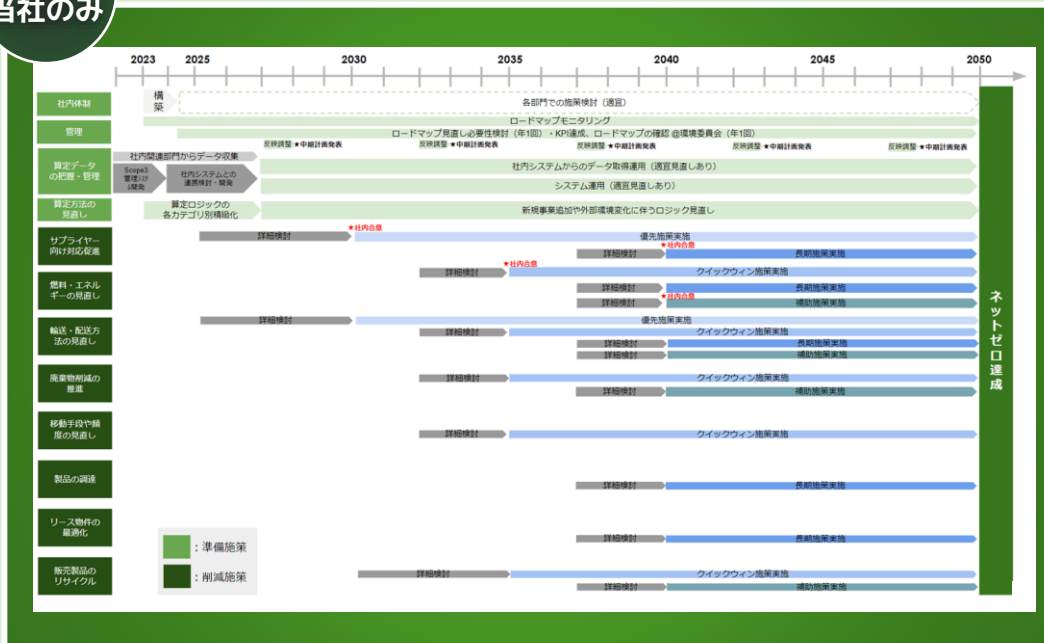
# Scope3削減計画



# Scope3削減のロードマップ策定・計画化

## 環境省モデル事業参画/策定

通信では  
当社のみ



## 対応アクション：全52項目

短期	優先施策	・サプライヤー向け対応促進
中期	クイックウィン 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料/エネルギー見直し</li> <li>・輸送/配送方法見直し</li> <li>・廃棄物削減の推進</li> <li>・通勤/出張の見直し</li> </ul>
長期	長期・補助施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の調達</li> <li>・リース物件の最適化</li> <li>・販売製品のリサイクル</li> </ul>

※環境省「令和4年度大企業のサプライチェーン全体の脱炭素化推進モデル事業」。計画は ソフトバンク(株)単体



# ビジネス機会の拡大 社会のCO2削減促進

# AIやテクノロジーを活用したビジネスの促進

自社活用から取引先への拡大へ

## スマートビルソリューション



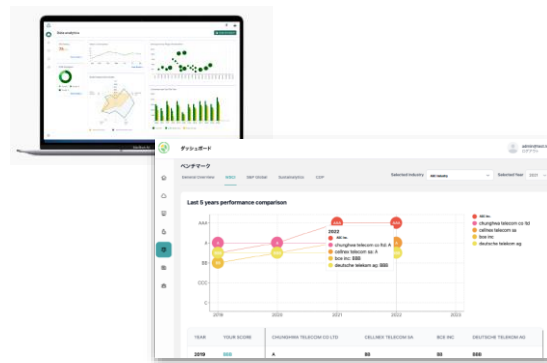
AI/IoTを活用し  
省エネ化のノウハウ提供

## グリーンデータセンター



大学/研究機関/企業に  
幅広く提供予定

## ESGデータ可視化SaaS



環境データ自動化  
+ コンサル提供



# 気候変動の適応分野でもビジネス展開

アグリ  
テック

## e-kakashi

AIによる農業DXと  
地球環境にやさしい農業を支援

農作業  
効率化



人材不足  
解消



技術  
継承



農作物周囲にセンサー配置  
環境データ収集/分析し栽培判断支援

水  
インフラ

## WOTA

AI活用でポータブル水循環システム  
の社会実装へ



AI水循環シャワー  
**WOTA BOX**

災害時等の  
公衆浴場として活用

排水の98%以上を再利用可能  
水に関わる社会課題解決のため、WOTA株式会社と資本・業務提携

# カーボンクレジットの取り組み

## 政府主導：GXリーグ参画

カーボンニュートラル実現と  
社会変革を見据え、産・官・学で協働



## 民間コンソーシアム：NCCC参画

テクノロジー×自然資本の  
ボランタリークレジット創出



日本の脱炭素  
の筋道議論

# 産学協創プラットフォーム 東京大学ETI-CGCへの参画

エネルギーtransition戦略

2050年  
各業界の脱炭素戦略

2050年未来構想戦略

日本のあるべき  
社会・経済システム

東京大学 グローバルコモンズセンター



CENTER FOR  
GLOBAL  
COMMONS

+

当社を含めた  
各業界の主要企業12社





環境省エコ・ファースト企業



日本気候リーダーズ・パートナーシップ加盟

# 脱炭素社会に向けてパートナーシップを積極化



TCFDコンソーシアム加盟



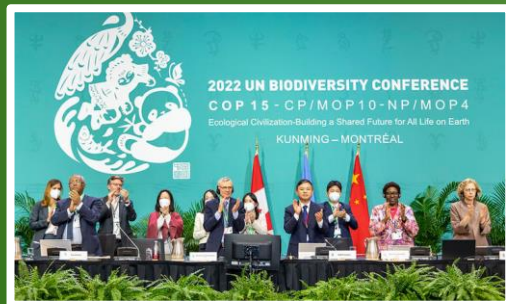
SBTi

氣候變動

自然資本/資源循環

# 基本スタンス

当社の事業 = 土地・資源が必要不可欠



国際目標

ネイチャーポジティブ支持

# 当社の自然資本/資源循環目標

土地開発  
影響軽減

自然保護区の開発面積以上を植樹  
2023年度：492㎡以上

リサイクル  
リユース台数

2020-2025年度：1200万台

# 自然資本の当社影響分析

## 事業重要度の高い事項からアタック

テーマ	依存	影響	影響度
土地利用	<b>ネットワークなど設備建設</b>	<b>建設に伴う森林伐採</b>	<b>Very High</b>
	スマホ個装/販促品等の紙使用	使用にともなう森林伐採	Very Low
水使用	データセンターのサーバー冷却水	過剰取水による湧水/地盤沈下/水質汚濁	Mid
汚染等 その他	廃棄物(電気電子機器廃棄物)	非適切処理時の土壌汚染等	Mid
	スマホ/販促品等へのプラスチック利用		Very Low

最優先  
事項

### LEAPアプローチへ着手

TNFD推奨ツールによる分析：ENCORE・Aqueduct

# 土地開発影響への対応

## 基地局等の設備建設

当社の  
使命

### ライフラインの維持



自然保護区での設備開発  
止むを得ず開発発生

## ネイチャーポジティブへの対応

### 自然保護活動を推進



※  
自然保護区<sup>※</sup>の開発面積以上  
(植生を考慮した植樹等)



# 今後の分析スコープ

現在

事業への  
直接影響を対象

今後

バリューチェーン  
影響に対象拡大

土地利用 機器のレアメタル使用

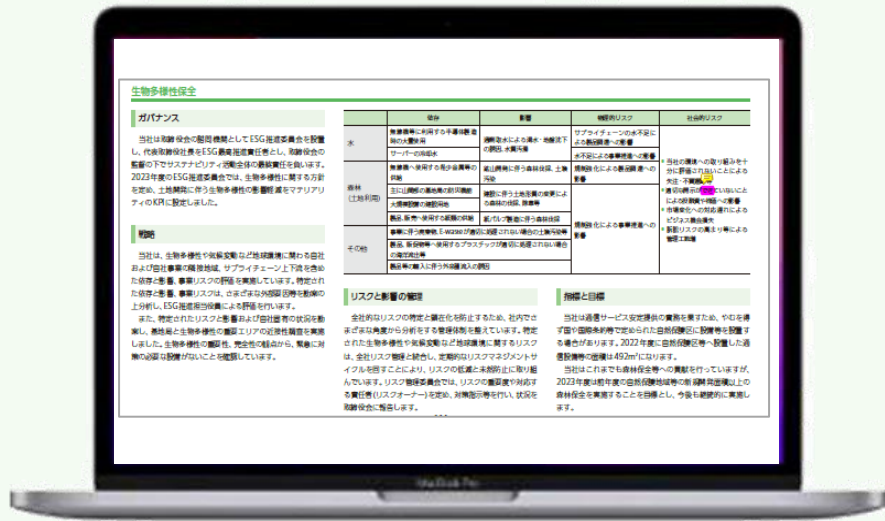
水利用 半導体の製造時の使用

汚染/  
その他 輸入時の外来種混入

※項目は一例

# TNFDへの対応状況

当社WEBにて一部公開済



## TNFD提言による 情報開示に着手

## 今後の情報開示へ

アーリーアダプター登録済



# 生物多様性の取り組み

## 未来とサンゴプロジェクト



SoftBank 恩納村  
未来とサンゴプロジェクト

恩納村や企業と連携し、  
募金収集/サンゴ苗の  
植付を展開

## 社員向け自然教育「富良野自然塾」



社員/家族による  
ゴルフ場跡を元の  
森に還す植林活動

## お客様・企業・団体とともに効果的に推進

### 自然でんき



自然でんき  
暮らしの中でできることを。  
おうちのでんきて、森を守ろう

毎月のでんき代は  
基本料金  
**0**円

森林保全活動を  
ソフトバンクが毎月  
支援

かんたん  
お申し込み

1契約/毎月50円  
森林保全に

### 環境配慮素材の活用



掛川市と共同で  
未利用材の製紙活用推進



社用アイテムを100%  
リサイクル可能素材へ切替

# 資源循環に配慮した対応を推進

## スマホリユース/リサイクル



GSMA  
目標賛同

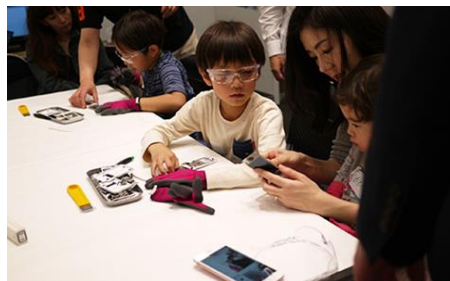
2020年～2022年  
累計730万台

## 基地局設備などの産廃抑制



基地局設備最終処分率  
1%以下に抑制

## 循環型社会の市民教育



リサイクルを学ぶ教室  
「りさ育る」

## ペーパーレス（自社）



年間印刷枚数  
8割減



TNFDフォーラム



環境省30by30

# 生物多様性のイニシアティブとも協働



経団連自然保護協議会



Japan Business Initiative for Biodiversity

企業と生物多様性イニシアティブ

# 世界/国内の最高レベルの評価獲得

<b>日経SDGs経営調査</b>	<b>脱炭素経営 ランキング GX500</b>	<b>DJSI World</b>	<b>MSCI ESG格付</b>
<b>第5回大賞</b> (3年連続★5獲得) <b>NIKKEI SDGs</b> 大賞 2023	<b>第1位</b> 	<b>2年連続選定</b> (国内最高スコア) Member of <b>Dow Jones Sustainability Indices</b> Powered by the S&P Global CSA	<b>AAA</b> <b>MSCI ESG RATINGS</b>  CCC B BB BBB A AA AAA

## GPIF参照ESG指数にも組入

 <b>FTSE4Good</b>	 <b>FTSE Blossom Japan</b>	 <b>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index</b>	<b>2023 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)</b> <b>2023 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数</b>	 <b>S&amp;P/JPX カーボン エフィシエント 指数</b>
---	--	--	--	--



「世界で最も必要とされる会社」へ